

# 給与支払報告書（個人別明細書）記入例

⑦ 給与と支払報告書（個人別明細書）

※ 種別										※ 整理番号									
※ 区分										(受給者番号) 1234-0123456789									
支払を受ける者										(個人番号) 1234 5678 9012									
住所										(役職名)									
大分県別府市亀川東町〇番×号										(フリガナ) ベップ タロウ									
氏名										別府 太郎									
種別		支払金額		給与所得控除後の金額 (調整控除後)		所得控除の額の合計額		源泉徴収税額											
給与		5,000,000		3,560,000		1,860,000		0											
(源泉)控除対象配偶者の有無等		配偶者(特別)控除の額		控除対象扶養親族の数 (配偶者を除く。)		16歳未満扶養親族の数		障害者の数 (本人を除く。)		非居住者である親族の数									
有 従者		380,000		特定 老人 その他		1 1		特別 その他											
社会保険料等の金額		生命保険料の控除額		地震保険料の控除額		住宅借入金等特別控除の額													
450,000		120,000		50,000		85,000													
<b>(摘要)</b>																			
<前職> 有限会社▲▲▲▲▲ R6 3.31退職 (支払) 1,000,000円 (社保) 200,000円 (源泉) 10,000円 (退扶) 別府 一夫 \$28.5.5 別 400,000円																			
新生命保険料の金額		100,000		旧生命保険料の金額		50,000		介護医療保険料の金額		100,000		新個人年金保険料の金額		120,000		旧個人年金保険料の金額		120,000	
住宅借入金等特別控除適用数		居住開始年月日 (1回目)		H27 12 12		住宅借入金等特別控除区分 (1回目)		住(特)		住宅借入金等年末残高 (1回目)		20,000,000							
住宅借入金等特別控除可能額		200,000		居住開始年月日 (2回目)		住宅借入金等特別控除区分 (2回目)				住宅借入金等年末残高 (2回目)									
(源泉)特別控除対象配偶者										配偶者の合計所得									
(フリガナ) ベップ ハナコ										480,000									
氏名 別府 花子										国民年金保険料等の金額									
個人番号 1234 5678 9013										基礎控除の額									
(フリガナ) ベップ イチロウ										国民年金保険料等の金額									
氏名 別府 一郎										旧長期損害保険料の金額									
個人番号 1234 5678 9014										所得金額調整控除額									
(フリガナ)										5人目以降の控除対象扶養親族の個人番号									
氏名																			
個人番号																			
(フリガナ)										5人目以降の16歳未満の扶養親族の個人番号									
氏名																			
個人番号																			
(フリガナ)																			
氏名																			
個人番号																			
未成年者										本人が障害者									
外国人										特別 その他									
死亡退職										寡婦									
災害者										ひとり親									
乙欄										勤労学生									
										中途就・退職									
										就職 退職 年 月 日									
										○ 6 5 1									
										元号 年 月 日									
										昭和 55 1 1									
個人番号又は法人番号										3 0 0 0 0 2 0 4 4 2 0 2 0									
住所(居所)又は居住地										別府市上野口町1番15号									
氏名又は名称										株式会社 ○ ○ ○ (電話) 0977-12-3456									

(摘要)に前職分の加算額、支払者等を記入してください。

## ○摘要欄

- 提出後に訂正がある場合は新たに給与支払報告書を作成し、摘要欄に「訂正分」と朱書きして再提出してください。
- 前職(他社分)の給与支払額を含めて年末調整した場合は、必ずその**支払者名、合算した給与支払額、社会保険料額、源泉徴収税額**をご記入ください。  
**記入がない場合は、前職分を含んでいないものとして取扱います。**
- 普通徴収に該当する方は普通徴収理由内訳書を添付し、符号を記入してください。  
**普通徴収理由内訳書及び、摘要欄に符号がない場合は特別徴収として取扱いますのでご注意ください。**
- 退職手当等の支払を受ける扶養親族がいる場合は、「(退扶)」(配偶者は「(退配)」)と記入し、対象者の**氏名、生年月日、居住区分**(同居は「同」、別居は「別」)、**障害者区分**(普通障害は「普」、特別障害は「特」)、**合計所得金額の見込額**(退職手当を除く)をご記入ください。

## ○住宅借入金等特別控除

住宅借入金等特別控除の対象の方は、「住宅借入金等特別控除の内訳」欄に**住宅借入金等特別控除可能額、居住開始年月日、住宅借入金等特別控除区分**(住・認・増・震)、**住宅借入金等特別控除の額**をそれぞれご記入ください。

※住宅借入金等特別控除区分の記入間違いにご注意ください。**区分を間違えると控除が住民税へ適用されません。**

当該住宅の取得や増改築が特定取得に該当する場合は「(特)」と記入し、特別特定取得に該当する場合は「(特特)」、住宅が特例居住用家屋や特例認定住宅等に該当する場合は「(特家)」とご記入ください。  
**記入がない場合は非該当として取扱いますのでご注意ください。**

## ○中途就・退職

同一年中に就職し、退職した場合は、**退職の内容**をご記入ください。

## 【給与支払報告(個人別明細書)の記載について】

給与支払報告書(個人別明細書)の記載例における詳細につきましては、「給与所得の源泉徴収票等の法定調書の作成と提出の手引」または、国税庁ホームページをご覧ください。